

「皆の心一つに震災の劇上演」

僕は、文化祭で上演した劇「忘れない～21人の輪より～」を練習していく中で、たくさんのことを考えました。

僕たち2年生は、劇に込める気持ちが一つにならないこともありました。しかし、東北にボランティア活動に行かれた方から、被災された方が「忘れられることが一番こわいと言われました」という話を聞いた時に、僕たちの記憶から東日本大震災のことが少しずつ薄れていることに気づきました。また、どんなことも当たり前ではないということを、教えていただきました。この時から、みんなの劇に込める気持ちが一つになり、練習をしていきながら、素晴らしい劇にしていけることができました。

そして、本番ではたくさんの方が劇を見てとても感動されていたので、震災をテーマにした劇をして良かったと思いました。また、劇が終わって、たくさんの方が「良かったよ」と言ってくださり、嬉しく思いました。中でも一番嬉しかったのは、東北ボランティア活動に行かれた方が「ありがとう」と言ってくださったことです。